

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月13日

上場会社名 株式会社アオイプロモーション  
 コード番号 9607 URL <http://www.aoi-pro.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 高瀬 哲  
 (氏名) 八重樫 悟  
 配当支払開始予定日

TEL 03-3779-8000  
 平成20年12月5日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	7,684	—	253	—	224	—	△85	—
20年3月期第2四半期	7,884	21.9	480	125.3	455	116.8	188	104.9
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
21年3月期第2四半期	△7.06		—					
20年3月期第2四半期	15.50		—					

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	16,850	—	9,363	—	54.9	—	761.17	—
20年3月期	17,080	—	9,707	—	56.3	—	790.18	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 9,259百万円 20年3月期 9,613百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	20.00	25.00
21年3月期	—	7.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	18.00	25.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,050	4.6	780	△7.0	710	△9.1	250	△9.9	20.55

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 13,334,640株 20年3月期 13,334,640株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,170,166株 20年3月期 1,168,478株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 12,165,469株 20年3月期第2四半期 12,167,797株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一気に景気後退局面に入ってしまった。原油・穀物等原材料価格の高騰等により先行きに不透明感を増しつつあった海外景気はサブプライムローン問題に端を発した金融危機の影響を受け、米国のみならず欧州・中国に加え新興国までも減速の度合いを強めました。外需依存型の成長をしてきたわが国経済は大きな影響を受けつつあります。行財政改革問題を抱えながらの経済対策では内需拡大にも限界があり、ますます難しい局面が予想されます。

当広告業界におきましても、わが国経済の動きを反映し広告需要が俄かに低調になってきました。加えて、当社が主力とするテレビコマースの需要は、メディアの新しい展開による広告媒体の多様化等の影響もあり更に厳しい状況となっております。

このような環境の中にありまして、当社グループでは、グループ各社の組織を挙げて業績の維持・向上に向けて鋭意努力してまいりました。しかしながら広告需要減少の影響が思いのほか大きく、売上高は、計画はもちろん前年実績までも下回りました。利益的にも制作原価率の抑制等経費の節減に努めたものの、上記減収に加え、仕掛作品の評価減、株式市場の下落等に伴う委託機関の運用成績の大幅低下による退職給付費用の負担増、役員退職慰労金の支払いや投資有価証券評価損計上、繰延税金資産の一部取崩しに伴う税金費用の増加等もあり、不本意なものとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高76億8千4百万円（対前年同期比97.5%）、営業利益2億5千3百万円（対前年同期比52.9%）、経常利益2億2千4百万円（対前年同期比49.4%）、四半期純損失8千5百万円（前年同期は純利益1億8千8百万円）と前年同期比大きく後退しました。

なお、主要部門別の営業状況は、映像制作事業部門が売上高70億9千3百万円（対前年同期比96.8%）その他の事業部門が売上高5億9千1百万円（対前年同期比106.2%）でした。

前年同期との比較金額及び比率につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の連結貸借対照表上の資産合計残高は168億5千万円（前連結会計年度末比2億2千9百万円減）となりました。これは、現金及び預金等の増加もありましたが、主に受取手形及び売掛金、投資有価証券や繰延税金資産等の減少によるものです。

負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の連結貸借対照表上の負債合計残高は74億8千7百万円（前連結会計年度末比1億1千4百万円増）となりました。これは、支払手形及び買掛金等の減少もありましたが、主に借入金の増加によるものです。

純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の連結貸借対照表上の純資産合計残高は93億6千3百万円（前連結会計年度末比3億4千3百万円減）となりました。これは、主に剰余金の配当及び純損失計上に伴う利益剰余金の減少によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べ、6億6千9百万円増加しました。これは、営業活動及び財務活動による収入が投資活動による支出を上回ったことによるものです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億6千1百万円（対前年同期比4億9千4百万円減）となりました。これは、主に売上債権の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億9千3百万円（対前年同期比1億3千2百万円増）となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、6億1百万円（対前年同期は、使用した資金2億8千4百万円）となりました。これは、主に長期借入金の借入れによるものです。

前年同期との比較金額につきましては、参考として記載しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、これまで以上に厳しい状況が暫く続くものと思われます。種々の対策を講じられながら未だ不透明感を残す金融危機の影響が尾を引き、海外景気の回復が遅れ、また内需拡大にも限界があり、難局を脱する糸口を見出せない状況にあります。当然のことながら、企業・家計共により慎重な行動となると思われます。

勢い広告需要は、ますます冷え込むことが予想されます。一方、映像制作業界を取り巻く環境も広告媒体の多様化で変わりつつあり、当社のようなワンストップサービスに対応できる体制の整った制作会社への発注傾向が強くなっ

ております。

引き続き積極的な営業活動を展開するとともに制作原価率の上昇を抑える等経費の節減に努める所存であります。通期の連結業績の見通しにつきましては、平成20年11月7日に公表のとおり期初の予想を変更し、売上高180億5千万円(前連結会計年度比104.6%)、営業利益7億8千万円(前連結会計年度比93.0%)、経常利益7億1千万円(前連結会計年度比90.9%)、当期純利益2億5千万円(前連結会計年度比90.1%)を見込んでおります。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

###### 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

###### 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

###### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

###### 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

###### 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当社及び連結子会社は、従来、仕掛品は個別法による原価法、貯蔵品は先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、仕掛品は個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、貯蔵品は先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期利益が76,208千円少なく計上されております。

###### リース取引に関する会計基準の適用

当社及び連結子会社は、従来、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第2四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期利益に与える影響はありません。

なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金額	金額
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,610,771	938,837
受取手形及び売掛金	6,572,221	7,392,635
仕掛品	726,425	678,414
貯蔵品	28,084	26,102
その他	356,848	259,096
貸倒引当金	8,755	11,978
流動資産合計	9,285,596	9,283,108
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,566,073	3,566,073
その他(純額)	1,528,857	1,547,273
有形固定資産合計	5,094,931	5,113,347
無形固定資産	158,211	158,228
投資その他の資産		
投資有価証券	841,203	912,423
その他	1,482,451	1,629,420
貸倒引当金	11,675	16,033
投資その他の資産合計	2,311,979	2,525,810
固定資産合計	7,565,122	7,797,386
資産合計	16,850,718	17,080,494

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,472,213	1,793,353
短期借入金	2,843,268	2,662,316
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	72,005	263,999
賞与引当金	110,743	108,914
役員賞与引当金	2,500	23,000
その他	406,548	529,219
<b>流動負債合計</b>	<b>4,927,277</b>	<b>5,400,802</b>
<b>固定負債</b>		
社債	20,000	30,000
長期借入金	2,311,454	1,641,671
退職給付引当金	46,305	17,178
役員退職慰労引当金	152,671	257,849
負ののれん	22,709	25,849
その他	7,008	
<b>固定負債合計</b>	<b>2,560,148</b>	<b>1,972,547</b>
<b>負債合計</b>	<b>7,487,426</b>	<b>7,373,350</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	3,323,900	3,323,900
資本剰余金	3,945,069	3,945,080
利益剰余金	2,776,958	3,106,158
自己株式	790,887	789,841
<b>株主資本合計</b>	<b>9,255,040</b>	<b>9,585,297</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	4,187	28,137
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>4,187</b>	<b>28,137</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>104,064</b>	<b>93,708</b>
<b>純資産合計</b>	<b>9,363,292</b>	<b>9,707,144</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>16,850,718</b>	<b>17,080,494</b>

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
	金額
売上高	7,684,260
売上原価	6,715,031
売上総利益	969,228
販売費及び一般管理費	
役員報酬	184,778
従業員給料	164,651
賞与引当金繰入額	8,907
役員賞与引当金繰入額	2,500
退職給付費用	16,512
役員退職慰労引当金繰入額	13,007
貸倒引当金繰入額	471
その他	324,491
販売費及び一般管理費合計	715,319
営業利益	253,909
営業外収益	
受取利息	1,050
受取配当金	2,687
為替差益	3,719
受取保険金	1,483
負ののれん償却額	3,140
持分法による投資利益	455
その他	7,051
営業外収益合計	19,587
営業外費用	
支払利息	42,594
その他	6,106
営業外費用合計	48,700
経常利益	224,796
特別利益	
貸倒引当金戻入額	14,047
特別利益合計	14,047
特別損失	
役員退職慰労金	129,615
投資有価証券評価損	31,293
保険解約損	9,478
貸倒引当金繰入額	5,995
会員権評価損	4,966
固定資産除却損	637
持分変動損失	534
特別損失合計	182,522
税金等調整前四半期純利益	56,321
法人税、住民税及び事業税	54,839
法人税等調整額	82,837
法人税等合計	137,677
少数株主利益	4,521
四半期純損失	85,876

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	56,321
減価償却費	189,959
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,580
退職給付引当金の増減額(は減少)	47,510
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	105,177
賞与引当金の増減額(は減少)	1,829
受取利息及び受取配当金	3,738
支払利息	42,594
為替差損益(は益)	192
売上債権の増減額(は増加)	829,271
たな卸資産の増減額(は増加)	49,993
その他の流動資産の増減額(は増加)	22,162
仕入債務の増減額(は減少)	321,140
その他負債の増減額(は減少)	118,244
その他	60,137
小計	643,718
利息及び配当金の受取額	3,610
利息の支払額	39,742
法人税等の支払額	246,570
営業活動によるキャッシュ・フロー	361,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	164,476
無形固定資産の取得による支出	7,550
投資その他の資産の増減額(は増加)	121,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	293,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	40,000
長期借入れによる収入	1,350,000
長期借入金の返済による支出	459,265
社債の償還による支出	10,000
少数株主からの払込みによる収入	5,300
自己株式の取得による支出	1,057
配当金の支払額	243,323
財務活動によるキャッシュ・フロー	601,654
現金及び現金同等物に係る換算差額	192
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	669,698
現金及び現金同等物の期首残高	910,811
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,580,509

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

株式取得による会社の買収

平成20年10月1日株式会社シースリーフィルムの株式を取得しました。

1. 買収の理由

メディアの新しい展開に伴う広告媒体の多様化等により厳しさを増す経営環境に的確に対応するため、営業・制作体制の強化・補完を目的として、テレビコマーシャルを中心に企業の広告宣伝の企画制作及びこれらに附帯する業務を営んでいる同社の株式を取得しました。

2. 株式取得の相手の名称

相手の名称	株式会社 エクスプレス
-------	-------------

3. 買収した会社の名称、事業内容

会社の名称	株式会社 シースリーフィルム
事業内容	テレビコマーシャル・ビデオパッケージ等の企画制作

4. 取得した株式の数、取得価額及び取得後の議決権比率

取得した株式の数	3,040株
取得価額	41,000千円
取得後の議決権比率	97.4%



「参考」

(1) 前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
売上高	7,884,330
売上原価	6,741,929
売上総利益	1,142,401
販売費及び一般管理費	662,271
営業利益	480,129
営業外収益	
受取利息	796
為替差益	2,711
その他	22,910
営業外収益合計	26,418
営業外費用	
支払利息	40,601
支払手数料	5,416
その他	5,227
営業外費用合計	51,245
経常利益	455,301
特別利益	21,234
特別損失	366
税金等調整前四半期純利益	476,169
税金費用	277,015
少数株主利益	10,513
四半期純利益	188,640

(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	476,169
減価償却費	178,982
貸倒引当金の増減額(は減少)	9,183
退職給付引当金の増減額(は減少)	13,480
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,463
賞与引当金の増減額(は減少)	7,015
役員賞与引当金の増減額(は減少)	9,500
受取利息及び受取配当金	3,869
支払利息	40,601
為替差損益	22
売上債権の増減額(は増加)	677,369
たな卸資産の増減額(は増加)	3,583
その他の流動資産の増減額(は増加)	4,348
仕入債務の増減額(は減少)	105,143
その他負債の増減額(は減少)	192,864
その他	128,869
小計	1,203,339
利息及び配当金の受取額	3,855
利息の支払額	38,402
法人税等の支払額	313,459
営業活動によるキャッシュ・フロー	855,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	34,610
無形固定資産の取得による支出	974
投資有価証券の取得による支出	2,000
新規連結子会社の取得による収入	19,372
その他投資に関する収支(純額)	142,532
投資活動によるキャッシュ・フロー	160,745
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(純額)	1,160,000
長期借入れによる収入	1,500,000
長期借入金の返済による支出	394,354
社債の償還による支出	10,000
自己株式の増減額(は増加)	1,156
配当金の支払額	219,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	284,546
現金及び現金同等物に係る換算差額	22
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	410,063
現金及び現金同等物の期首残高	1,066,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,476,861

(セグメント情報)

該当事項はありません。

(2) 受注及び販売の状況

部門別売上高明細表

(単位：千円、%)

		前年同四半期		当四半期		前連結会計年度	
		(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
CM作品	オリジナル	5,111,632	64.8	5,037,977	65.6	10,957,966	63.5
	改訂	224,415	2.9	267,100	3.5	390,903	2.3
映像作品		939,076	11.9	846,567	11.0	2,632,723	15.3
その他	プリント	553,556	7.0	449,931	5.8	993,996	5.8
	企画等	498,998	6.3	491,633	6.4	1,129,221	6.5
映像制作事業		7,327,679	92.9	7,093,210	92.3	16,104,811	93.4
その他の事業		556,650	7.1	591,050	7.7	1,145,626	6.6
合計		7,884,330	100.0	7,684,260	100.0	17,250,438	100.0

部門別受注状況明細表

(単位：千円)

		前年同四半期		当四半期		前連結会計年度	
		(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
		受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
CM作品	オリジナル	5,185,600	1,639,706	4,616,709	1,505,932	11,319,428	1,927,200
	改訂	200,115	10,000	222,890	29,290	430,103	73,500
映像作品		1,014,744	422,963	1,277,468	506,825	2,361,352	75,924
その他	プリント	553,556		449,931		993,996	
	企画等	483,390	86,758	512,268	28,334	1,034,555	7,700
映像制作事業		7,437,407	2,159,427	7,079,267	2,070,381	16,139,436	2,084,324
その他の事業		556,650		591,050		1,145,626	
合計		7,994,058	2,159,427	7,670,317	2,070,381	17,285,063	2,084,324

(3) 経営指標等の推移

平成21年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 (20年4月～20年6月)	第2四半期 (20年4月～20年9月)	第3四半期 (20年4月～20年12月)	第4四半期 (20年4月～21年3月)
売上高	3,331,701	7,684,260		
売上総利益	344,979	969,228		
営業利益(損失)	31,157	253,909		
経常利益(損失)	46,395	224,796		
税金等調整前四半期 (当期)純利益 (損失)	194,333	56,321		
四半期(当期)純損失	148,221	85,876		

平成20年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 (19年4月～19年6月)	第2四半期 (19年4月～19年9月)	第3四半期 (19年4月～19年12月)	第4四半期 (19年4月～20年3月)
売上高	3,250,467	7,884,330	11,711,828	17,250,438
売上総利益	438,339	1,142,401	1,652,576	2,215,011
営業利益	82,734	480,129	675,216	839,032
経常利益	78,632	455,301	633,464	781,343
税金等調整前四半期 (当期)純利益	80,728	476,169	648,163	727,221
四半期(当期)純利益	2,334	188,640	253,175	277,433

平成19年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 (18年4月～18年6月)	第2四半期 (18年4月～18年9月)	第3四半期 (18年4月～18年12月)	第4四半期 (18年4月～19年3月)
売上高	2,726,703	6,466,264	9,150,842	14,832,892
売上総利益	94,969	797,599	834,705	1,702,845
営業利益(損失)	204,768	213,150	9,608	575,883
経常利益(損失)	199,969	209,994	18,739	575,974
税金等調整前四半期 (当期)純利益 (損失)	225,599	177,588	84,615	478,690
四半期(当期)純利益 (損失)	184,118	92,059	58,582	138,700